

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度 第3回入間市博物館協議会
開 催 日 時	令和元年12月20日(金) 午前10時00分開会・午前11時30分 閉会
開 催 場 所	入間市博物館 会議室
議 長 氏 名	中林敦子 会長
出席委員(者)氏名	篠塚清治副会長 町田郁夫委員 中込勝英委員 内田さよ子委員 間野哲委員 田中晃一委員 奥田貴哉委員 横田力男委員
欠席委員(者)氏名	石川真弓委員
説明者の職氏名	加藤館長 石川副館長 加藤主幹 大久保主幹 津久井副主幹 小田部副主幹 いるまミュージアムパートナーズ・飯島責任者
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	<令和元年度 第3回入間市博物館協議会> 1 開会 2 会長あいさつ 3 博物館長あいさつ 4 議事 (1) 協議事項 博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について (2) 報告事項 「平成30年度 博物館事業 外部点検評価」の結果について 5 その他 (1) 特別展「史料で読み解く 狭山茶の歴史」の実施報告 (2) 「第23回 むかしのくらしと道具展」のご案内 6 閉会 公開・非公開の別 全て公開
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料1 平成30年度 博物館事業 外部点検評価シート 資料2 令和元年度 第3回入間市博物館協議会 会議資料 資料2 (別紙) 令和2年度指定管理者予定自主事業 資料3 「史料で読み解く 狭山茶の歴史」実施報告書
事務局職員職氏名	新見教育部長 関谷次長 加藤館長 石川副館長 加藤主幹 大久保主幹 津久井副主幹 小田部副主幹 萱津主事 いるまミュージアムパートナーズ・飯島責任者
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項	
議 事 の 概 要 (経 過)	<p><令和元年度 第3回入間市博物館協議会></p> <p>4 議事</p> <p>(2) 報告事項【資料1】 「平成30年度 博物館事業 外部点検評価」の結果について 順番の変更により事務局より報告事項の説明が先となった。</p> <p>(1) 協議事項 博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について 事務局より【資料2】について説明があった。</p>
決 定 事 項	<p><令和元年度 第3回入間市博物館協議会></p> <p>4 議事</p> <p>(1) 協議事項 博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について 事務局より【資料2】についての説明があり、内容に関して各 委員からの質疑応答が行われた。</p>

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>4 議 事 (2) 報告事項 「平成30年度 博物館事業 外部点検評価」の結果について</p> <p>次に、次第の4 議事に入ります。ここからは、博物館条例第15条第1項の規定により、中林会長に議長をお願いしたいと存じます。</p> <p>しばらくのあいだ議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をお願いいたします。本日は石川委員の1名が欠席ですが、半数以上の委員の出席をいただいておりますので、博物館条例第15条第2項の規定により本会議は成立しております。なお、議事録の署名についてですが、議長と議長が指名した者となっておりますので、委員名簿順により今回は間野委員をお願いいたします。それでは、これより議事に入ります。</p> <p>事前に郵送でお配りいたしました「次第」では、まず(1)として「協議事項」となっておりますが、順番を変更して(2)の「報告事項」から先に始めたいと思います。「報告事項」は、前回の会議に、委員の皆さまにご提出いただいた「平成30年度 博物館事業 外部点検評価」の結果についての報告です。この報告内容を活かして、(1)の協議事項の話し合いを行いたいと考えておりますので、順番をあえて変えさせていただきました。</p> <p>それでは、事務局より、【資料1】「平成30年度 博物館事業 外部点検評価」の結果について、報告をお願いします。</p> <p>【平成30年度 博物館事業 外部点検評価シート の内容を説明】</p>
中林会長(議長)	<p>ありがとうございます。それでは、ただ今の事務局による説明に対しまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p>
横田委員	<p>博学連携事業について、入間市の博学連携は他の自治体に比べ何か特徴はあるのでしょうか。それが博物館の入場人数に関係してくるかどうかと思うのですが。</p>
加藤主幹	<p>入間市の博学連携事業は、他の市町村のものに比べお茶の体験をさせるという部分で特化しているところがあります。お茶の体験をする市内の小中学生が全員やってくる。また3年生の「むかしのくらしと道具展」という社会科の学習でも必ず全員やってくる。バス予算等も計上しているところは入間市の特徴かと思えます。また4年生の埼玉県の地形学習でも、越谷市等からいらっしゃっています。年間で8000名くらいの小中学生が来てくださっています。</p>
横田委員	<p>教育現場ではどのくらいの負担になるのでしょうか。体験の機会が増えることは意味あることだとは思いますが、同時に非常に大変なのではないかと思えます。</p>
篠塚副会長	<p>学校では体験を非常に重視しています。例えば博物館に来ないと、体験</p>

	<p>を学校の中で企画して、準備して、人材をお願いしなければなりません。博物館に来ることによって、学校でやらねばならないところを、すごく良い環境を整えて実施していただける面があるので、学校側としては大変ありがたいところです。3年生で行う「むかしのくらしと道具展」につきましても、教科書には色々な道具の写真が出ているのですが、実際にその道具が学校にあるかと言われると、そこまで数を集めることができません。博物館に来ることで、実物もあるし体験もできるということで、学校側としては非常にありがたい部分もあります。</p>
中林会長(議長)	<p>他にご意見やご質問はありますか。</p> <p>【意見なし】</p>
中林会長(議長)	<p>無いようでしたら次に移ります。次に(1)「協議事項」に戻りまして、「博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について」に移ります。まず、【資料2】について、事務局より説明をお願いします。</p>
加藤主幹及び飯島責任者	<p>【令和元年度 第3回入間市博物館協議会 会議資料及び令和2年度指定管理者予定自主事業 の説明】</p>
中林会長(議長)	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまの説明を踏まえて、これらの現状と課題を改善するために指定管理者に期待される具体的な役割や事業運営についてご意見や質問はございますか。</p>
横田委員	<p>コンサートは、文化を広めるという意味で博物館らしさがあると思います。その中でも集客に差があります。三味線は人気のようですが、ハーブのコンサート等ではいまひとつといった現状に対してどうお考えですか。</p>
飯島責任者	<p>去年の11月から月一回コンサートを行っております。傾向とすると津軽三味線については多くの方が来てくださいます。洋風のクラシック、それも講座室で行う古楽と呼ばれる演目になるとお客様のご来場が少ないという傾向があります。ただ、私としては常に集客を見込める津軽三味線や民謡のみを行ってれば良いとは考えていません。音楽を皆さんに提供するのならば、津軽三味線もやるしクラシックもやるという方向を今後も続けていきたいと思っています。別紙の資料に予定予算を記載しておりますが、元々指定管理料の中から予算をつけています。私たちの目標としては、かかった経費を入場料収入で回収し、それにより浮いた指定管理料を新たな事業に投入することとなります。</p>
横田委員	<p>収支を意識して入場料を考えると、入場者数を増やすことと入場料による収入で経費を回収することの虻蜂(あぶはち)取らなくなってしまいうががします。</p>
飯島責任者	<p>あくまでも目標でございます。なるべくそれに近づけることで新たな事業を可能としたいというものです。</p>
中林会長(議長)	<p>ありがとうございました。他にご意見やご質問はありますか。</p>

篠塚副会長	博物館らしさということで先ほど音楽の話が出ました。私事ですが、最近映画を見に行く機会がありまして、映画のBGMにクラシックギターが流れており、内容にもクラシックギターが絡んでいました。映画が終わったあとに思わずCDを買ってしまいました。クラシック音楽と聞くと固いイメージになってしまいますが、映画で使われたものだと多少身近に感じ参加しやすくなるのではないかと思います。
中込委員	質問ですが、指定管理者の導入は今年で二年目になると思います。昨年の入場者層はどういった状況になっているのでしょうか。
飯島責任者	博学連携の影響もあり、小学生と高齢の方が多いい傾向がありました。現在もそこに大きな差はないです。私たちとしては、抜けている中間の層にご来場いただくことを目標としております。ただ、そこは正直なところまだうまくいっていない現状となっています。また、小学生以下の層を目標としてリトミック教室を実施しております。それにより、3歳以下のお子さんを呼び込みお母さんたちのネットワークを築くことも目的としています。今後の課題としてはやはり中間の層を呼び込むこととなります。
中林会長(議長)	私からもよろしいですか。外部点検評価シートの中に来場者にも変化が出ているのではないかという意見がありますが、何か実感はありますか。
奥田委員	私が書いた意見というわけではありませんが、ケーブルテレビで聴いたのですが、取材のとき博物館の事業の内容も変わってきているし、来ている人の様子も変わってきているという意見があります。
中林会長(議長)	どのように変わってきているのでしょうか。
奥田委員	比較的若い人が来るようになったというものです。ただ、交通の面から来づらいということも言われていました。
飯島責任者	今年、「るるぶ」という雑誌にこちらの博物館の広告を載せました。お客様から「るるぶを見て来た」という声もいただいているので、その効果も少しはあったかと思えます。ただ、それが明らかに効果的であったと言えるほどのものではなかったというのが、現実だと思います。
町田委員	魅力ある展示という部分にも、少し気を配っていただきたいです。以前に日本刀の展示を行ったことがあると思います。その際に、どこかの博物館では日本刀の展示の形態が整っていなかったため不可能であったが、この博物館では可能であったということを聞いた覚えがあります。集客という面では、魅力的な内容のものをきちんとした形式で特別展とすれば、多くの人が集まると思います。経費などの問題もあるかもしれませんが、そういったものを行うのも一つの手ではないでしょうか。 博物館がやるべき内容と集客が見込める内容、そのバランスを取ることが必要ではないでしょうか。
中林会長(議長)	企画展について説明をしていただけますか。
津久井副主幹	ご意見があった件に関しては難しい面があります。以前に直営で運営し

	<p>ていたころ、外部の資料をお借りして特別展を開催するという行っていました。その当時の値段で 600～800 万かかっておりました。当時の値段でそうなるので、現在の値段を考えると私たちが指定管理者さんにお支払している指定管理料では難しいのではないかと思います。ただ、確かに良い企画を開催すれば人が集まるかもしれないという点があります</p>
大久保主幹	<p>私は当時担当ではなかったため詳しい内容までお話しすることはできませんが、刀剣展に関しては埼玉県の刀剣の愛好家の方が毎年どこかの資料館・博物館を用いて開催しているものです。その会場として、その年は入間市博物館を利用したものだたと記憶しております。こちらの持ち出し等はなく、会場をお貸しした形であり、入館料もとっていないものです。</p>
横田委員	<p>今のお話のように愛好家等とうまくマッチングすればお金をあまりかけずに魅力的な事業もできるのだと思います。ただ、現状では難しいでしょうし、市の美術クラブ等と協賛していくのが現実的ではないでしょうか。</p> <p>先日、クラシックのリコーダーとパイプオルガンの事業を聞く機会がありました。内容は良かったのですが、こちらに来るまでの手間がかかり、2000 円かかるというのも抵抗がありました。難しいところかと思いますが、入場料収入のバランスを取ることを考えずに 500～1000 円程度で将来の投資と考えて気軽に参加できるものにするのも手ではないでしょうか。</p>
内田委員	<p>私はあの演奏会で 2000 円は安いと感じました。お客さんが来ない理由としては、バロック音楽やリコーダー音楽が市民の中に浸透していないのが大きいと思います。子どもと一緒に笛を吹く内容を設けるなど企画を設ければ人が来たのではないかと思います。来年度からコンサートが減る予定となっているので残念です。私は人が来ないからこそ、こういったイベントによってバロック音楽等が定着する機会になるかと思っています。</p>
田中委員	<p>入間市の駅から博物館までバスをチャーターするはどのようなのでしょうか。集客における一番の問題点は交通の便だと思います。</p> <p>民謡や落語などを行ったり、地域で有名な写真家や若手の芸術家などの身近な有名な人の展覧会やコンサートは人が集まるのではないかと思います。</p>
中林会長(議長)	<p>いくつかポイントがありましたが、バスのチャーターについてどなたかお答えいただけますか。</p>
町田委員	<p>長い展覧会の際に常時バスを出すのは難しいでしょう。展覧会の期間を絞り、その間だけバスを出すのはどうでしょうか。</p>
飯島責任者	<p>まだ思いつきの段階ですが、東野高校と連携して学校のバスを利用できないかと考えております。</p>
加藤館長	<p>完全に不可能というわけではないでしょうが、バス運行法の関係があるので恐らく難しいのではないかと思います。</p>
中林会長(議長)	<p>バスについては難しい面もあるので、ひとまずここまでとします。他のことについてどうでしょうか。</p>

篠塚副会長	<p>入場料については、無料なら来るかというところと違うと思います。極端に高いならともかく、そうでないなら結局のところ行きたいか否かでないでしょうか。いかに魅力ある企画ができるか、あるいは一緒に参加可能なイベントにするなど工夫次第ではないでしょうか。</p>
横田委員	<p>指定管理者さんが来年度の企画の中で入場料の調整に苦労されてるよう感じました。入場料についてあまり深く考えずに、内容を魅力的なものにするのみを考えていけば良いのではないのでしょうか。</p>
中林会長(議長)	<p>お茶摘みが体験できる施設は貴重かと思いますが、茶園の管理の問題が資料の中で出ています。お茶摘み体験はニーズが多いですし、充実させるべきではないでしょうか。</p>
間野委員	<p>市茶業協会にも広報課の方からもお茶摘みの体験ができる場所はないかと問い合わせがあります。ただ、多忙となる新茶の時期を希望されることが多く、こちらで対応ができません。博物館の茶園は商売というわけではないので、協会としても博物館で体験ができればと思います。何か協会として手伝えることがあれば、協力することもやぶさかではありません。管理費等の問題もありますが、各地域の茶農家が当番制で博物館の茶園の管理をお願いするというのも手ではないかと思います。</p>
横田委員	<p>現在、茶園の管理状況はどのようになっているのでしょうか。</p>
加藤主幹	<p>茶園管理はお茶を担当している職員がいるのですが、65歳を超えたことで雇用形態がパートという形に変わりました。パート職員になったことによる勤務時間の減少や年齢による負担により長時間の茶園での作業が難しくなっています。今は各職員が作業したり、学芸員の実習生に頼んだり、ボランティア会をお願いする等、何とかやりくりをしているというのが現状です。</p>
中林会長(議長)	<p>最後になりますが、先ほど篠塚先生のほうから博学連携についての意見を伺いたいと思います。</p>
篠塚副会長	<p>学校として博物館に求めているのは「むかしのくらしと道具展」と、お茶に関する学習となります。ただ、バスチャーターの予算の関係により、3年生のお茶の学習の際に博物館を利用できていません。バスチャーターの回数は変えられないので、他の利用を減らしお茶学習に利用するなどのことができないかと考えております。</p>
加藤主幹	<p>参考にさせていただきます。</p>
中林会長(議長)	<p>他にご意見、ご質問がありますか。無いようでしたら、以上をもちまして議長の職を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

年 月 日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____